

謹賀新年

計根别農業協因組合



ございます。 新年明けまして、 おめでとう

ます。 ります事に、 導・ご支援・ご協力を賜ってお 当JAの事業運営に対しご指 もに、旧年を問わず、日頃より 心からお慶び申し上げますとと い新年を迎えられていることと は、ご家族共々ご健勝で輝かし 組合員の皆様におかれまして 厚くお礼申し上げ

業等の各種助成措置が効を奏し、 良好な粗飼料を収穫・確保出来 恵まれ一昨年よりは量・質とも の休農者が出たこともあって前 給金はチーズ向け原料乳も折り 後半から徐々にではありますが 乳牛導入.営農規模拡大支援事 に向け三ヵ年間に亘り実施した 戸の方々の搾乳開始と生産増産 た事に加え、新規就農された四 半は減産傾向を見せていました いた以上に栄養価が低く、多く 春先からまずまずの天気に 昨年の粗飼料が思って 加工原料乳生産者補 \dot{O} 回復を見せまし 当 J A の 生乳生

> の激減と和牛・F1産子の増加牛肉消費の急増による輸入牛肉感じています。しかし、中国の 取引となりました。 体販売においては依然高値での 収支改善につながらなかったと 産資材の相次ぐ値上げにより、 とする石油を原料とする各種生 合飼料・電気料・燃料をはじめ 費税込五円を超す値上げとなり により初妊牛をはじめとする個 大きな成果となりましたが、配 カーとの用途別プール乳価は消 昨年と比較して大幅な経営の 十三円二十五銭、

票率・自由民主党と公明党の政総選挙が行われ、過去最低の投し「大義なき解散」と言われた 権与党が大勝の結果に終わりま 渉」・「農業、農協改革プログラ である「地方創生」・「TPP交 業団体にとって大変重要な課題 立候補された与野党を問わずほ もしないまま突然衆議院が解散 末に北海道の農業者・JA・農 ム」については大きな政策論争 国政においては、昨年十 · 一 月

> ていかねばなりません。 をお願し、強力な運動を展開し民の皆様にはなお一層のご協力 理解頂ける国会議員を頼りにし 党を問わず地方・農業・JAを 院議員の方々・道内選出及び政ますので、今回当選された衆議 決しないまま何があってもその満と不信感を抱いている点を解 視し官邸主導で、 場の声に耳を傾けず経済界代表 る中央政府・与党幹部は生産現 選挙後の安倍総理をはじめとす 針や考え方に賛同したものの、 ながら、 政策を強引に押し通すと思われ や新自由主義学者の主張を重要 組合員の皆様・地域住 候補者は農業団体 私達が強い不

整備等に助成の出来る制度を新 中心的な畜産経営体に対し施設 化対策に百六十億円を要求し、 規政策として農水省は、本年度 策」についてでありますが、新す「酪農生産基盤の弱体化対 ター」を中心とした畜産収益強 発展させる目的で「畜産クラス の概算要求に酪農・畜産を守り 一方、近年言われておりま

> 規の独自の施策等をくみし事業 図って参りたく、既存或いは新 展開を図って参ります。 大及び組合員戸々の労力軽減を いながら地域の生産力と所得増 であり、当JAはこの制度を使 ための政策要求に全力を尽くさ まる加工原料乳生産者補給金並 設しました。また、一月から始

が一緒になって地域を育み生気 で決して悲観せず、皆様とJA 業です。先行き不透明な情勢も を持つ事の出来る産業・担い手 ご指導をお願い致します。 参りますので、一層のご理解 のある農協事業運営に努力して ありますが、協同組合精神の基 の方々が夢をもって頑張れる産 し成長出来る農業であり、 国際的に生乳の需要は更に拡大 農業の中でもとりわけ酪農は 希望

新年のご挨拶とさせて頂きます。 であることをお祈り申し上げ、 地域・JAにとって豊饒な一年 族一同がご健勝であり、また、 結びに、本年が、皆様とご家

代表理事組合長 西 なければならないと思うところ びに酪農経営を維持発展させる 塚 横方には、ご健勝にて輝かしい 新年を迎えられたものと心より お慶び申し上げます。さて、昨 人差があるものの、おおむね順 人差があるものの、おおむね順 におかれましては、日々の営農 におかれましては、日々の営農 と併せ、地域農業の振興や地域 と併せ、地域農業の振興や地域 と付せ、地域農業の振興や地域 と付せ、地域農業の振興や地域 と付せ、地域農業の振興や地域 と付せ、地域農業の振興や地域 と付せ、地域農業の振興や地域

平成二十六年は午年(うまど をとりまく個々の情勢変化に が実施されるなど、まさに激 挙が実施されるなど、まさに激 挙が実施されるなど、まさに激 学が実施されるなど、まさに激 を及ぼしかねないTPP交渉 に関しては、関係国の首脳・閣 で、交渉官等による各種会合並 びに交渉が継続的に行われてい で、交渉が継続的に行われてい

目標時期も明示されませんでしして大筋合意には至らず合意の関係国の首脳会合では、結果と昨年の十一月十日に行われた

取組みをさらに進めていくこと 取組みをさらに進めていくこと をどを確認し合った経過にあり、 今後とも予断を許さない情勢に あります。国のかたちを大きく 変容させかねない重大な交渉で あるにもかかわらず、依然とし て具体的な情報開示がなされて て具体的な情報開示がなされて おらず、国民不在のもとでの交 おらず、日本により、

医開して参ります。
国民世論の形成に向けた取組みの強力な働きかけを行いつつ、の強力な働きかけを行いつつ、国の将来に禍根を残すことのな国の将来に禍根を残すことのないよう、今後とも政府・与党へ

一方、政府は規制改革会議 における答申を踏まえ、平成における答申を踏まえ、平成における答申を踏まえ、平成 における答申を踏まえ、平成 における答申を踏まえ、平成 における答申を踏まえ、平成 における答申を踏まえ、平成 に要望をもとに、「多様な価値 で要望をもとに、「多様な価値 に即した協同組合への改革」を に即した協同組合への改革。

> 今後、その内容を踏まえ、必をとりまとめました。 改革プラン(実行計画指針)」

をとりまとめました。
今後、その内容を踏まえ、必今後、その内容を踏まえ、必に働きかけを行うとともに、組に働きかけを行うとともに、組に働きかけを行うとともに、組に働きかけを行うとともに、組をり一層発揮し、国民各層の理がの一層発揮し、国民各層の理がの一層発揮しての機能・役割を対してもとづく事業展開を積極のに推進してまいりたいと存じめに推進してまいりたいと存じ

世界規模での異常気象の発生、大口増加、新興国の経済情勢の人口増加、新興国の経済情勢の大口増加、新興国の経済情勢の大いくかが問われています。自ていくかが問われています。自ていくかが問われています。行・役割を再認識したうえで必要不可欠な取組みであうえで必要不可欠な取組みであくという国としての基本姿勢のくという国としての基本姿勢のもとで、必要な政策展開なり関をといくことが重要であります。

理解と協力なくしては成り立たない産業であり、農業・農村の多実態や取組み、農業・農村の多実態や取組み、農業・農村の多実態や取組み、農業・農村の多実態や取組み、農業・農村の多になるとの風潮がありますが、になるとの風潮がありますが、になるとの風潮がありますが、になるとの風潮がありますが、になるとの風潮がありますが、な暮らしを追及し実現していくな勢が今まさに必要ではないで、

新年にあたってのご笑姿といた () です。群れをなす羊は家族 で暮らすことを意味します。改 で存の共存共栄を目指し、ともに 会の共存共栄を目指し、ともに 強に恵まれ実り多い年となりま すよう、併せて、北海道農業・ 世域社 を大切にし、地域農業・地域社 を大切にし、地域農業・地域社 を大切にし、地域農業・地域社 を大切にし、地域農業・地域社 を大切にし、地域農業・地域社 を大切にし、北海道農業並 がにJAグループ北海道の一層 がにJAグループ北海道の一層 がにJAグループ北海道の一層 がにJAグループ北海道の一層 がによう、併せて、北海道農業並 すよう、併せて、北海道農業並 すよう、併せて、北海道農業並 すよう、併せて、北海道農業並 がにJAグループにありませんか。



ことで一票を投じた。結果、

は消去法で現政権が無難という は未だ許すことができず、 は一票をどこに委ねるかの自問 か疑問を抱きつつ、多くの国民

前民主党政権時の体たらく

の衆院選、何故今、

総選挙なの

度一強時代が継続することと

ぞれの思いのなかにも健やかな 謹んで新年のお慶びを申し上げ 新年を迎えられたことと拝察し、 皆様方におかれましてはそれ

打破、 進することがあたかも経済停滞 改革を通してグローバル化を推 はずです。ところが安倍政権は 段に終始しないことを期待した 巻し戦後初の非自民単独過半数 に始まった選挙戦でありました 自民党一強を笠にTPPや規制 かし『追い風』におごり強硬手 の時国民は、下野した経験を活 民党は政権を奪還しました。こ を露呈して崩壊し、二年前に自 での政権交代は民主党の未熟さ そのような流れの中での今回 年末は冬将 国益であると邁進した。 「変革の風」 来ととも が席

> 要なTPP議論があまりされなかったのは残念だ。何れにしろ、 れる先生方が夫々の選挙区で約 東した事項が死守されることを 信じ農政運動を継続していくし かありません。又、「協」の部 分は託せませんが「農」の部分 は託すよりほかありません。 この選挙期 方が正しいのかもしれない。又、 というより安倍 たが今度は自民党一 中国民にとって重 一強時代という

ります。この策定に当って昨年平成二十九年度)の策定年であ農業振興計画(平成二十七年~さて、本年は第十次中期地域 確認し、対応力向上に資する目の対応が組合員目線なのか等を 組合員ニーズの把握と、更にはればどの部分なのか、いわゆるみづけに差はないか、あるとす くみでありますが、 です。この調査、 を実施させて頂いているところ 末から、皆様にアンケート調査 満足度アンケートを通して日頃 合員の皆様と農協役職員との重 な事業展開の重要度において組 初めてのとり 趣旨は様々

「畜産クラスター構築事業」を の連携・結集により地域ぐるみ 地域の関係事業者

て頂きます。 祈念申し上げ年頭の挨拶とさせ も喜びの多い年になることをご 皆様がご健勝で過ごされ一つで 11

具備ですが、一定の地区単位ります。いわゆる「地域力」の化)等地域の連携が不可欠であ城内分業(=作業の外部委託細るのは明明白白ですから、地 の利用集積を基軸に生産力向上力体制(点と点)も含めて農地(面)、場合によっては飛び地協 しなければならないと思いま可能性」を徹底的に探る一年に が、個人完結型経営だけでは先めるか、回復するかであります 生産基盤の脆弱化をどう食 業振興計画に反映しますととも 果につきましては、次期地域農にお礼を申し上げます。調査結 す。幸いにして農水省は、平成 に向けて「地域としての投資の であります。 に来春の懇談会に報告する予 二十七年の畜産酪農関連予算の 現下の最大の課題は、 り御協力頂いていること 致しました。 参 趣旨をご い域 事 佐 た末、 と願いますとともに、組合員の が穏やかな一年であって欲し そは天候をはじめ取り巻く環境 ました。なぜなら、当農協規模 乳牛頭数二万頭』とさせて頂き そのような訳で今年についても、 進すべき時期かとも思います。 とならないよう、この方向で行 情勢下、 選択肢が少なくなってきている という言葉があります。これは、 あるからであります。 で果たしているところが数農協 タイトルは『目指せ乳量十万t、 くという大同団結のもと一路邁 進む道を失ったという話ですが 選択肢が多すぎて、迷いに迷っ 羊を例えた熟語に「岐路亡羊」 べきと思います。 て地域生産力向上に資して行く をして 今年は、未年であります 結びにあたりまして、 藤 結局進路を決めあぐねて r V 根釧酪農が迷える子羊 ますので、 是非活用

5



JA計根別青年部

部長

久

保

拡

伸

ざいます。 新年明けましておめでとうご

組合員をはじめ、農協、各関係機関の皆様におかれましては、保機関の皆様におかれましては、旧年中より青年部の活動に対し、旧年中より青年部の活動に対し、

ます。
きました事、厚くお礼申し上げ青年部活動に参加、運営して頂青年部活動に参加、運営して頂れましても、日頃より積極的にれましても、青年部員の皆様におかまた、青年部員の皆様におかます。

昨年を振り返りますと、まさに一年馬の如く駆け抜けた年となりました。青年部として「地域貢献」を活動の柱に、様々な「地域中Rをして参りました。 新年早々から始まった計根別

活動とするべく何度も話し合い

暮部会が中心となり、より良いの節目の年を迎え、青年部お歳

お歳暮ギフト」事業も十年目

見事なゆるキャラを完成させまり、中夜な夜な青年部有志が集まり、

した。

から六名が参加致しました。
れ、地域の代表として当青年部
れ、地域の代表として当青年部

無台挨拶や関係者の集まりの 中で酪農の事、計根別の事をお がりを持つことができました。 ながりを持つことができました。 六月には地元での凱旋上映会 を行い、本当にたくさんの方々 にお越し頂き、今思い出しても、

> を行い、準備して参りました。 今年は何とか地元の牛乳を使っ た商品をセットに盛り込みたい との想いで、AFくらぶのチー との想いで、AFくらぶのチー した。また、全国的なバターの した。また、全国的なバターの ことができ、無事商品を発送す ることができました。改めて継 ることができました。

をの他にも、私達青年部の活動は、多岐にわたり、幅を広げ、 であったのは、新たに七名ものであったのは、新たに七名ものであったのは、新たに七名ものがあると思われていましたが、やはり活気あるといましたが、やはり活気あるといましたが、やはり活気あると

かりました。加入でますます元気な青年部と

社会的にはいまだに終着点の見えないTPP問題、また農協見えないTPP問題、また農協改革といった、これまでの私たな問題を突き付けられています。な問題を突き付けられています。な問題を突き付けられています。ない地ではきても揺るがない地がですっていく人材の育成を念頭に守っていく人材の育成を念頭に守っていく人材の育成を念頭に守ったいた活動をして参りました。今まさに若い青年部の組織力を生かし、本

新年の挨拶と致します。 南年部の挨拶と致します。 本年もより活発な活動を心掛け、 を実した一年にしていきます。 だ実した一年にしていきます。 だました一年にしていきます。 を部に対しましてご指導、ご鞭 を部に対しましてご指導、ご鞭

二十六年度を振り返って

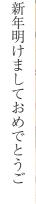
JA計根別女性部

部長

長谷川

希

美



ざいます。

ます。
は、本年も輝かしい新年を御家は、本年も輝かしい新年を御家

感謝申し上げます。
関の皆様におかれましては、ご関の皆様におかれましては、ご

さて、昨年を振り返りますと、 番草、二番草の時期の遅れ、そ の上、消費税が八%になり、T の上、消費税が八%になり、T の上、消費税が八%になり、T

挙。バタバタと解散、選挙とるという十二月十四日衆議院選それと、まもなく暮れを迎え

あっという間の選挙でした。そのような中、私たち女性部は経営や、家計に活かせる、そして心にゆとりを持てるような、地味を活かした活動をしてまい

全体活動としては、五月に日 帰り旅行で釧路のぷちどーるで スイーツ食べ放題やイオンに行 さました。バスの中でも、ス イーツを食べながらも、みんな で交流が深められ大変良かった と思います。

修旅行を行いました。
十月には、一泊二日で札幌研の注文を頂きました。

格別でした。

十二月には、女性部一大イベントのレディースフェスタを行い、各支部の自慢の料理とゲームで楽しい一日を過ごしました。三層活動では、フレッシュミズ、お茶しませんか、B&Wショウではカレー作り。

緑会では、趣味や仲間作りなど充実した活動を行いました。 そして、私は、十一月二十三日~十二月一日、道女性協海外 視察研修で、ドイツに行かせて がただきました。ドイツでの体 がただきました。ドイツでの体

最後になりましたが、今年も 皆様にとって、良い年となりま すように、心よりお祈り申し上 すように、心よりお祈り申し上



ケーキを作り。

祭りでそば粉を使ったパウンド

青葉会では、食事会、新そば



支所長

平

林

清

美

新年明けましておめでとうご新年明けましておめでとうごがにご家族の皆様にとりまして、びにご家族の皆様にとりまして、びにご家族の皆様にとりまして、びにご家族の皆様にとりまして、世解とご協力を賜り御礼申し上げます。

も多かったことと思います。 また、予期せぬ気象変化により り大きく変動し、突発的、 と日照時間については期間によ 温は概ね高めに推移し、降水量 物の作柄を振り返りますと、気 ほ場作業の進行に苦慮する場面 損壊等の被害が発生しました。 亡や浸水、 被覆資材の剥離、ほ場の表土流 的な豪雨、 さて、 昨年の気象経過と農作 作物の倒伏、 強風により、 畜舎の 一部で 局所

九七%と、まずまずの収量が確については乾物収量の平年比がそのような状況の中で、牧草

等の活用による草地型輪作体系 した。 つながったと思われます。 皆様の努力の積み重ねが成果に が、栽培管理技術改善へのチャ かった幸運もあったと思います が得られました。台風被害の無 で平年比一一八%と良好な実績 で平年比一一七%、TDN収量 が心配されましたが、乾物収量 の確立を目指した検討を進めて 必要性を改めて感じさせられま 率の減少やサイレージのタンパ 保されました。 る被害や一部で病害発生の影響 ジ用とうもろこしは、強風によ いきたいと思います。サイレー イレージ用とうもろこしや麦類 対策とあわせ、草地植生改善の ク質が低い傾向が見られ、 レンジや適品種選定の取組など 関係機関とも連携し、サ しかし、マメ科

依然として出荷乳量が伸び悩んすと、回復傾向にはあるものの、一方、生乳生産に目を向けま

けての明確な目的を持った取組す。現場における課題解決に向

さんの、

毎日の作業のひとつひ

とつが、大きな意味を持って牛

成長や産乳につながっていま

だきます。

えるでしょう。 ことのできない取組の一つとい 場における的を絞った課題解決 その一方では、草地への雑草侵 備が進められています。しかし ンター、コントラクター、 ならびに、 地域では着々と農場の規模拡大 でいる状況が続いています。 れぞれの生産支援組織で働く皆 活を実現させるために、欠かす できるでしょうか? 牛群を得るために現場では何が ています。健全な草地と健康な 発等が大きな課題として残され 入、乳牛の疾病や死亡廃用の多 パー組織等、生産支援体制の整 れは皆さんが思い描く経営や生 の取組が必要だと思います。そ 育成牧場、 個々の農場やそ T M R セ 個々の農 ヘル 当

は、例え失敗したとしても貴重な経験値として貢献します。 り個々のモチベーションを高めることにもつながると思います。 ることにもつながると思います。 るか、 先行きが不透明な不安材など、 先行きが不透明な不安材など、 先行きが不透明な不安材の中心である農業に携わる皆さんのモチベーションを高めることが、 地域の元気にもつながると思います。

現場で農業に携わる皆さんひ 現場で農業に携わる皆さんひ 果を実感できますよう、農業改良普及センターも微力ながらお 食がになりますが、本年も皆 結びになりますが、本年も皆 様方がご健勝で計根別農業協同 様方がご健勝で計根別農業協同 となりますことをご祈念申し上となりますことをご祈念申し上

版

懇親会です。発表を終え ほっと一息下川原君

記念講演講師の船木氏が 長野五輪で勝ち取った金メダル 直に触りました!



アームレスリング大会での本田拓哉君 まさかの優勝者との1回戦!? くじ運に涙

たテー とが出来ました。イ」についての詳細もここで学ぶこ 問題点を参加者でディスカッション 青協が推進している、 て食農教育を行う「農村ホームステ ことが出来ました。また、 参加者で情報の共有などを行う V 0) 分科会に参 食農教育の活動 教職者に対し 加 11 現在、 たしま 道

装を身につけている方もいて、大いました。参加者の中には変わった衣力及ばず惜しくも一回戦で、敗退し君は後の優勝者と対戦しましたが、 管内の盟友の大きな応援の中、 に盛り上げていました。 アームレスリング大会では、 スキージャンプ 本 根田 室 0)

農ニュースや農業新聞に掲載されるとができませんでしたが、翌日の酪

聴衆に印象づける発表でした。

からの食農教育のカタチ」

分科会では、

りました。下川原君は、惜しくも東

から農業に対する思い入れや将来へ

青年の主張大会では、様々な経験

展望をどの発表者も熱く語ってお

北・北海道大会への出場権を得るこ

めた計六名が参加しました。

スリング大会出場の本田拓哉君を含

発表を行う下川原康弘君、

アームレ

らは部長を始め、

青年の主張大会で

A青年部大会が行われ、当青年部か

クホテルにて第六十三

回全道丁

月 匝 日分 五.

日にわたり、

木和喜選手に行っていただきま

選手の活動のなかで、 農産物を利用することがあり、 からの苦労。そして現在 長野オリンピックの 北海道の の舟木

地区の青年部の活動 おっしゃっていました。 ることに非常に感謝して 質の良い農産物を提供してくれ 二日間という期間の 中 いると で、 他

います。この刺激を激を受けられたと思することで、良い刺くこと、盟友と交流 張っていきたいと思業の先駆者として頑 青年部がより積極的原動力として計根別 盟友の想いを聞



まじめ?に聞く参加部員



青年の主張発表大会 下川原君、惜しくも優秀賞!!





(中計根別) 小林 雄一さん



(中計根別) 凛さん





(西竹) 早坂 英夫さん



に今年の抱負などを語っていただきました組合員さんと職員のご家族の年男・年女の方

(西竹) 長谷川善一郎さん



2015未年

(西竹) 杉本 美鈴さん



(中計根別) **春奈さん** (拓矢さん) 桜井



早坂 安男さん

サッカーを頑張るー



海碧さん・唐崎 彩子さん



仲良く 男子が多い家族だけどみんな

(東西竹) 幸道さん 唐崎



(若竹) **卓也さん** (豊さん) 近藤



(若竹) **ト 海さん** (春美さん) 柵木



(販売部) 大友 賢治さん



谷川 好則さん



年であります (営農部)



女を磨きます

(営農部) 中野あずささん



(新栄) 小栗 清さん



(東西竹) 須崎 源蔵さん



(販売部) 喜来 **実**さん



(Aコープ) 大沢 有紗さん





健康で良い年に

(中計根別) 増子 博さん





(南養老牛) 小川有紀恵さん・石邑 勇さん





笑顔の1年にしたい

特に算数!

(上標津) **木村 元気さん** (智さん)

-と勉強を頑張る-(南養老牛) **本田 夏鈴さん** (勉さん)

(東養老牛) 遠藤 慎也さん

(上標津) 坂地 定義さん



河本 美幸さん



(共進) 加藤紀久子さん



(共進) 加藤 司さん



トで500Mを50秒き





(中本別) 鹿又 裕良さん



(常盤) **奇 嵩耶さん** (知暢さん) 岡崎



(共進) 吉田 明浩さん



(共進) **喬 優輝さん** (顕吾さん) 高橋



(共進) **苅田 梨緒さん** (憲幸さん)



(中本別) 佐藤 春治さん



(中本別) 松本クニ子さん



(中本別) 河合 千春さん

、 の 出



(中本別) 大沢 武史さん



子供たちと家族元気に過ごす

(中本別) 赤池 菜緒さん





(大成) 砂越 一輝さん (健一さん)



(酪進) 白川 愛斗さん



(酪進) 末広 沙季さん

げます。 機会を与えて頂きましたことを改めて感謝申し上 周る視察研修に参加させて頂きました。本視察の オランダ、 この度、 デンマーク、スウェーデンの三ケ国を 九月二十日~九月二十九日の期間で、

興と発展を目的とし研修して参りました。 勢十六名が参加し、欧州における酪農現場・技術 の情報をいち早く取り入れ、今後の根釧農業の振 本視察は、根室釧路管内十JA、連合会より総

ラス主体草地) 三: の現状 二 自給飼料の現状(ペレニアルライグ 三つでありました。 研修の大きな柱は、 雑種強勢による乳牛改良の 一.搾乳ロボット導入農場

〇九月二十二日 レ リー本社・工場見

000台) で全て受 の生産台数(年二, 日十五台~二十台 けた。工場では一 に案内され研修を受 みのシアタールーム ばかりで、 今年の一月にできた レリー本社工場が 映画館並



○アンチェス・ボナパス牧場

体乳量九,〇〇〇 五 kg 経産牛一二〇頭 - 0 t平均産次三: 育成牛六〇頭

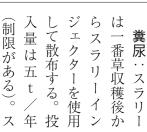
機(ジュノとバー 二台 自動給餌 (ASTRONAUT) レージは購入。 デントコーンサ (内借地一〇ha) 草地面積五〇 搾乳ロボッ



フィードステー ション・放牧選別 /ート・自動哺育

は本人が行ってい タンチョンを設置。 作業なので連動ス る。ワンマンでの 給餌:畜舎内給

のこ式)通路にす 置して管理してい 牧選別ゲートを設 払われるため、 国より補助金が支 牧することにより 環境:三ケ月放 スラット(す



いて施肥(年間窒素投入量に規制がある)。スラ 素が減る為)。肥料の投入量はスラリー分を差引 ラリーは散布直前に撹拌して散布 (曝気すると窒

営農部 基盤強化対策課長

No. 1

Ш 目

剛

カルミキサーの合 ンと自動給餌機 餌 は移 ノとバーチ 動 カクレ

年間出荷乳量

より二〇%の補助 ることにより、国



を受ける。



リーは八ケ月貯留。

円~五二円)当農場の損益分岐点は三二セント 出が減り乳価は下落した。 ユーロ。 乳価:三五~三八セントユーロ ロシアのウクライナ情勢と中国からの輸 (日本円 四八

○ブローニング牧場

経産牛一八〇頭

平均産次三: 五 量九,五〇〇kg 七〇〇 t 回数六回 サイレージ収穫 草地面積九〇ha 年間出荷乳量一 個体乳

置・フィードス 四台 自動除糞装 テーション・放牧 (ASTRONAUT) 搾乳ロボット

営しているが、二 哺育機。兄弟で経 選別ゲート・自動 人で管理している 人工授精も含む)。

ラーでの搾乳で 乳ロボットを導入 した。以前はパー 二〇一一年に搾 ○○○㎏程





は本人が行ってい 繁殖:人工授精

キサー使用 給餌:TMRミ

と同様、三ケ月放 牧選別ゲートを設 払われるため、放 国より補助金が支 牧することにより 環境:上記牧場

置して管理してい る。スラット (す

補助を受ける。 糞尿:上記牧場と同様

のこ式)通路にすることにより、

国より二〇%の

まで可能。

産能力は週九〇台 五〇〇台製造、生

使用し三ケ月間放 段部一番草、上段 補助金を受けてい により、国からの 牧を実施しする事 放牧選別ゲートを 貯蔵している。上 五〇〇㎏に向上し 記の牧場と同じく 部二番草と重ねて バンガーの中は下 六回しているが、 収穫作業を年







○九月二十六日

見学。 機械を販売してい 世界の半分の搾乳 ネス展開を行い、 以上の市場でビジ では世界の一〇〇 紹介、ハムラ牧場 バ工場見学、 ウェーデン デラバル社、ス デラバル社

三五台 乳ロボットは週 製造を行い、搾 ボット (AMR) ラー用の搾乳ロ ロータリーパー ラーユニット) ③ イプライン・パー 的なミルカー(パ ①搾乳ロボット (VMS) ②一般 製造エリアでは 年間一,





六三五戸)。 を導入している(スウェーデン酪農家個数 トであり、 スウェーデンでは新規投資の八割は搾乳ロボッ 国内全体の二一、八%が搾乳ロボット

○ハムラ牧場(デラバル社所有研究牧場)

エキシビジョン展示 ボット)の三施設と AMRロータリーロ グボーン、 究開発牛舎(ヘリン 乳ロボット牛舎、研 るために買収した。 生産の研究を実行す イストール牛舎、搾 九〇一年設立のタ 八九四年に牛乳 スモール



牛床数六八 四ロー 動搾乳システム牛舎。 二〇〇二年建設の自 スクレッパー ロボット牛舎:

換気を らないように保温と 換気(五℃を下まわ ジ付き空気吸入機械 ター制御ルーフリッ 換気:コンピュー 確保する)。

も放牧期間三ケ月の国の補助 システム装備)・放牧選別ゲー る分房別の乳房健康状態モニタリング、発情管理 VMS搾乳ロボットスープラ+(乳汁分析によ ŀ (スウェーデン

K 飼養品種:ホルスタイン・スウェディシュレッ 個体乳量一二,五〇〇kg/頭

○アンドレアス牧場(スウェーデン) 経産牛一六八頭

四〇〇t 個体乳量 肪五.五% 年間出荷乳量一, · 七% 八〇〇 kg 乳蛋白 乳脂

年で更新。 レージ収穫回数三回 物(小麦・大麦・え ラス混播 ん麦)七〇ha ペレニアルライグ 放牧地四〇ha 草地面積一 草地は三 ha 五 穀 ha サイ

子。 ら新築。労働力は M S) 二台 スク オーナーと二人の息 七〇頭の繋ぎ牛舎か レッパー・自動哺育 搾乳ロボット 二〇一二年に 労働時間七時間

力二名で人工授精 繁殖:農場内労働

間隔一三ケ月 乳牛更新率三〇% 初産分娩月齢二五ケ月 平均授精回数一: 七 口 分娩

レッド。 の長さを意識している。 改良:乳房底面の高さ、 一部クロスブリードも実施。 品種はスウェディシュ 前後のバランス、 乳頭

給餌:ダンプボックスと設置型一二㎡ミキサー







使用。給餌機より 日十一回 環境:放牧期間

ルフェア(家畜福 などアニマルウェ 徐角は麻酔をする の助成金カット。 ない場合は国から れている。実施し が三ケ月と定めら に対応。







○パトリック牧場(スウェーデン)

量八,三〇〇kg 経産牛八五頭 年間出荷乳量七〇〇t オーガ

ニック乳生産

草地は三年で更新。 牧地九○ha サイレージ収穫回数三 搾乳ロボット 草地面積一〇〇ha チモシー混播主体 一○○ha ha ha V M

ぎ牛舎から新築。労働力 S 五名 は経営主夫婦と父。二: ション 二〇〇九年に繋 パー・フィードステー 1 台 スクレッ

七回 __ 0 % 十三ケ月 一六ケ月 殖:乳牛更新 分娩間隔十二~ 平均授精回数一: 初産分娩月齢 率

ドとホルスタイン。 種はスウェディシュレッ 長さを意識している。品 前後のバランス、乳頭の 改良:乳房底面の高さ

した低水分ラップサイ インドロー反転機を使用 キサー使用。給餌機より 日一二回。 給餌:設置型二二一㎡ミ 粗飼料はウ

> 個体乳 レージと麦のストロー。

可。 ら離さない。 使用後は二週間合乳不 その他洗剤等の規制 五ケ月長い四. 放牧期間は通常より 生後三日間は母牛か 境:オーガニック基 抗生物質 五ケ



ジェクターは使用しなくても良い。



産量が向上していました。 の軽減による規模拡大、または多回搾乳により生 設備により徹底した省力化を図ったワンマンオペ 糞装置、 ル研究農場含み)の搾乳ロボット農場を視察しま レーション経営を実践しており、同時に労働負荷 したが、搾乳ロボット以外に自動給餌機、自動除 オランダで二戸、スウェーデンで三戸(デラバ 哺乳ロボット、放牧選別ゲート等の機械

営マネージメントがしっかりしている要因と思わ をはっきり答えられる状態でした。特にデンマー とも搾乳ロボットが普及した背景と考えられます。 ことではなく、 クでは後継者で農家を引き継ぐ事は簡単にできる ネージメントがしっかりできており、 いれば牧場を持つことができなく、この辺りが経 各農場主の基本的な酪農技術の習得と経営マ 雇用機会や賃金が高い労働環境になっているこ 他での実習経験や資格を取得しな 損益分岐点

畜舎内外や住宅周辺の管理状況も良く一日七時

16,500



万能な機械ではなく導入者

の技術が最終的には経営収支に大きく影響をおよ 行くと思われますが、 間労働で綺麗に管理されていました。 今後当農協管内でも搾乳ロボットが導入されて

事故・現在の乳房・乳頭の状態・パソコン管理技 理)・畜舎内外の清掃 管理・サイレージの調整技術・草地の更新・分娩 ぼすと思われます。 ○導入前 個体乳量・牛の衛生状態・搾乳衛生状況 (個体管理・収支管

)導入後

労務管理 日々のパソコン管理 牛と向き合う時間

勢と植生改善です」 次回は乳牛の雑種強





酪農家戸数



お正月太りを解消しきしょう!



年末年始はクリスマス、忘年会から始まり、お正月、新年会と1年の中でも食べたり飲んだりすることが多い季節ですね。特にお正月は「食べて動かず、また食べる」という生活を送り、気付いたら「体重が増えていた!」ということを経験された方も多いのでは? そんな時期だからこそ、食べることに少し気をつけて、普段より多く体を動かすことで、お正月太りを

解消しましょう!

☆知っておきたいおせち料理のカロリー☆



*切り餅 1個 (50g) 120kcal



*くりきんとん 小鉢 (40g) 101kcal



*伊達巻 1切れ (40g) 57kcal



*紅白かまぼこ 2切れ(40g) 38kcal



*田作り 小鉢 (15g) 40kcal



*ぶりの照り焼き 1切れ (60g) 150kcal



*大根なます 小鉢 (30g) 21kcal



*数の子 1腹(25g) 36kcal



*エビ甘煮 1尾(40g) 45kcal



* 旨煮 中鉢(100g) 185kcal



*黒豆 小鉢(40g) 141kcal



*昆布巻 小3切れ(30g) 61kcal

【おせち料理を選ぶポイント】

- 1. お餅の食べ過ぎに注意→1食のお餅の量は2~3切れにする
- 2. 甘味の強い料理は少量に→甘味の強い料理は、箸体め程度にする
- 3. 野菜料理(サラダ等)をプラス→不足しがちな野菜をプラスし、栄養バランスを整える

☆食べたカロリーを消費しよう☆

ウォーキング(45分)

切り餅1個 120kcal 運動・牛活活動で 消費するには?



ジョギング(27分)

サイクリング(17分)





🧥 なわとび(14分)



階段昇り降り(23分)



お風呂掃除(35分)



掃除 (38分)

※()内の時間は体重60kgの人が消費するのにかかる時間です。

除雪は力を入れるときに息を止めたり、上半身に偏った筋力運動になりやすいなど血圧が上昇し やすく、心臓に大きな負担をかけます。除雪を安全で健康な有酸素運動に変えるために、下記のこ とに注意して行ってみましょう。



- ①室内で十分な準備運動を行ってから開始。
- ②作業前や合間には水分補給を。
- ③腕や上半身に負担をかけるのではなく、脚の屈伸 (腰を入れて下半身の力)で雪を捨てる。
- ④スコップやスノーダンプに積む雪を少なめに。 (作業効率より、長い有酸素運動時間を優先させる)
- ⑤作業時は呼吸を止めず、リズミカルに。

食事と運動でバランスよくウエイトコントロールしましょう!

情報提供:北海道農業団体健康保険組合 健康推進部

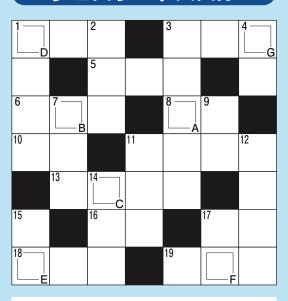
【タテのカギ】

- 百人の歌人に和歌を撰集し た百人〇〇〇〇
- 2 神仏に供えたモチをしるこ などにする○○○開き
- 3 田んぼをすきおこすのに用 いる機械
- 4 だいたいの見当や目標。○ ○がつく
- 7 気楽な立場で傍観する、○ ○○の見物
- 9 人の意見や批評も○○東風 で聞き流す
- 11 欲しいものが何でも出てく る打ち出の〇〇〇
- 12 他人の言うことを聞かない ことを「○○○○をもたな いしという
- 14 勝って○○○の緒を締めよ
- 15 無料という意味です
- 17 「心機一転」「一念発起」は、 ○○熟語

【ヨコのカギ】

- ○○○団らん、○○○総出 1
- 細かく降る雨です
- 携帯電話で撮った写真の〇 ○○を保存
- 6 あらかじめ見ておくこと
- 産みの母に代わって育てる 女性
- 10 洋風ならフローリング
- 11 尾崎紅葉の小説、『〇〇〇 ○夜叉』
- 13 細い眉のような形の月
- 16 いろいろな毛色が混じって まだらな○○の犬
- 17 ○○書きそろばんを教えた 寺子屋
- 18 つばのある帽子を英語でい うと?
- 19 強い体、転じて困難にも気 力がくじけない様子

クロスワードパズル



- ●正解者5名の方にすてきなプレゼントを さしあげます。なお、正解者多数の場合 は抽選とさせていただきます。
- 《応募方法》左下の点線の部分を事務所内 (販売機構) の投書箱へ。または、組織 広報係までFAX (78-2556) お願いし ます。
- 《締め切り》平成27年1月20日まで 12月号、1月号の当選者の発表は広報「け ねべつ」2月号誌上



きりとり線

工	ולז						
氏	名						
TE	ĒL						
答 A	え	В	С	D	E	F	G

ご意見をお寄せ下さい。(季節の便りなど何でもけっこうです)

きりとり線

かまいません。

いずれも営農部広報担当の深見・渡邊までお気軽

ります。 を目指 風景写真も募集しています。 らお知らせ下さい。 さて、 掲載しますの 月号を発刊するまでの期間 ら的に参 新年明けましておめでとうござい のに参加して頂き誠にいつも広報けねべつな します。 今年も広報けねべ 地域のイベ でご了承ください 、つをご覧 にあり ント 農協カレンダーに使用する計根別地 0 が短い (頂き、 いい撮影場所があるという情報提供 は や記事にしてほし 地域に根 ・ます。

付いた魅力ある広報

いづくり

い事等ありました

域

で 0

がとうございます。 ため、 またクロ たくさんのご応募お待ち 両号の 1スワ 抽選結果は K 度十二 ズ ル 一月号と して にも 月

号

月 延 W 7

計根別学園、新校舎へお引越し!!



十二月二十五日の朝から、 中学校の生徒・先生・PT Aのみんなで新校舎に引っ 越しをしました。新しい教 室の室内は明るく、温かい ためみんなの笑顔がとても 輝いていました。 来年一月からは、新校舎 での勉強にみんな楽しみに





